



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO KITA

c/o TOKYO YMCA 2-2-20 TOYO KOTO-KU TOKYO 135-0016, JAPAN Tel.03-3615-5562
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS. CHARTERED 1980



2021年 4月 No480

Jacob Kristensen (デンマーク) 国際会長主題:

「VALUES,EXTENSION,andLEADERSHIP」 [価値観、エクステンション、リーダーシップ]

スローガン: 「TRUST IN THE RIVER OF LIFE」 [命の川を信じよう]

David Lua アジア太平洋地域会長主題: 「Make A Difference」 [変化をもたらそう]

スローガン: [奮い立たせよう]

板村哲也(東京武蔵野多摩)東日本区理事主題: 「“Let's enjoy Changes” [変化を楽しもう]

副題: 「Let's help and share each other」 [助け合い、分かち合い]

柿沼敬喜 (東京グリーン) 関東東部部長主題: 「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」

村杉一榮 東京北クラブ会長主題: 「元気をだして 楽しく！」

会長;村杉一榮 副会長;磯部成文 書記;金 秀男 会計;磯部幸子 担当主事;小松康広

今月の聖句

詩編 86:11

『主よ、あなたの道をお教えてください。わたしはあなたのまことの中を歩みます。』

小松 康広 選

第594回 4月例会プログラム

日時: 2021年4月20日(火) 13:00~15:00

場所: 日本基督教団浅草教会

内容: 会員協議会 40周年について

ハッピーバースデー

12日 菅谷真由美 22日 笠井達夫

ウェディングアニバーサリー

2日 小松康広・美樹 3日 羽田真治・涼子

1. 例会報告

第594回 2021年 4月20日(火) 13:00~15:00

内容 「東京北ワイズメンズクラブ40周年記念会
 及び記念誌について」 参加6名

40周年記念会については、コロナ禍の現状、特別
 にお祝いの会は実施しないこととする。全会員で力
 を合わせて、記念誌の作成をすることに決定

2. 今後について

5月例会は、記念誌の作成に向けて、情報を持ち寄り
 共有、協議していくこととする。

今期中の完成を目指すこととする。

興望館の近況及び「コロナ禍の1年を振り返って」

社会福祉法人興望館 常務理事/副園長 大江 浩

東京北ワイズの皆様には、日頃より賜ります興望館へのご理解ご協力を深く感謝申し上げます。

私大江は昨年4月に興望館に移り、副園長就任早々には、

「感染症災害」へのリスクマネジメントと位置づけて

「新型コロナウイルス対策本部」を設置し(現在も継続中)、興望館にとって創立101年目となる2020年度はコ

ロナ対応に終始しました。無我夢中の1年でした。当初は、コロナ禍での数々の制約や不自由を余儀なくされましたが、そのような状況下でも職員やリーダーが子どもたちと一緒に考え、知恵を出し合い、工夫を凝らし、生活を豊かにするためにチャレンジしていく場面を多く経験しました。興望館のパワーを見る思いでした。コロナ禍の影響により、高齢者の方々対象のふれあい事業である「お食事友の会」は通年で実施できませんでした。心待ちにしているメンバーからは毎日、何度も問い合わせの電話がかかってくる場合があります。また各シーズンの行事では、興望館の伝統の夏キャンプは中止、地域ぐるみのフェスティバルである「こうぼうかんデー」も規模縮小と代替手段を余儀なくされました。興望館とい

| 4月在籍者 | 4月出席者 | 1月出席率 | B F等ポイント | ニコニコボックス |
|---------|---------|----------|----------|------------------|
| 会 員 7名 | 会 員 5名 | 50% | 月分 | 4月分 6,000円 |
| 広義会員 5名 | 広義会員 1名 | | 切 手 0g | |
| 合 計 12名 | メネット 0名 | メイクアップ 名 | 現 金 0円 | 本年度累計 |
| | ビジター 0名 | 月修正出席率 | 本年度累計 | 本年度累計 43,000円 |
| | ゲスト 0名 | | 切 手 0g | |
| | 合 計6名 | % | 現 金 0円 | |

う、人々が集い交わりの場所であるコミュニティセンターにとってはそのミッションを果たせないことにジレンマを抱えましたが、いつかこの試練が希望に変わる日が来る、と信じて耐えてきた1年でもありました。

1. 興望館・東京事業所

● 保育園5歳児クラス/もみのき組の「卒業」

3月13日、もみのき組の第92回卒業式が執り行われました。92回！！です。クラス担任でもないのに最初から最後まで涙のカーテンで前が見れないような卒業式でした。26年前の阪神・淡路大震災の1か月後に誕生した長女の幼稚園の卒業式と重なったからでした。もみのき組の園児からは「ひろしせんせい、いまままでお世話になりました」というメッセージカードと手作りのペーパー花束を頂きました。また涙腺が壊れました。今年1年、子どもたちからの「ひろしせんせい、おはよう。ありがとう。またあしたね・・・」の声にどれほど励まされ、救われたことか。子どもたちは、興望館の元気の源です。

● 学童クラブの「6年生を送る会」

3月18日には「6年生を送る会」が開催されました。卒業は6名。送る会では、「6年間、学童クラブを続けた理由」について6名のスピーチがありました。「学童クラブのキャンプが大好きだったと、スタッフやリーダーが大好きだったと、メンバーが大好きだったと、そしてそれぞれにとって大切な居場所であった」と。心動かされるスピーチでした。卒業生は、春休み中もジュニアリーダーとして学童クラブのメンバーの活動に関わってくれています。興望館は人と人との繋がりによってその歴史がつけられているのだと日々、実感しています。

2. 児童養護施設・沓掛学荘

● 子どもたちの1年

「・・・例年のお正月は卒業生が学荘に帰ってきて、にぎやかに過ごします(が、県外との往来ができず叶わず)今年には県内に住む卒業生におせち料理を配りました。今年度は沓掛学荘誕生80周年を祝う祝典、記念誌の編集等を企画していましたが、コロナ禍ですべて先送りになってしまいました。この1年コロナに翻弄されてきたといっても過言ではありません。『人間の力なんて...』と思う一方、子どもたちのたくましさ、すばらしさなど、日常の中では気づくことがなかった子どもたちの姿に出会うことができました1年でもありました。」

(こうぼうかん誌2021年3月号より)

● ホームコンサート

(卒業生の送別・激励と入所児童の進級を祝う会)

今年3月7日のホームコンサートは、卒業生4人のため

に、をメインに歌やダンスのプログラムが生まれ、「卒業生が挨拶をする場面では職員も子どももみんなが涙を流しているような状態でした。素敵なホームコンサートになりました」(同上)とのこと。残念ながら緊急事態宣言下で移動ができず、祈りをもって報告を受けました。学荘の卒業生たちはコロナ禍で、それぞれの就学や就業に困難な状況にあります。未来ある若者たちのために、祈りお支え頂ければ幸いです。

コロナ禍ではありましたが、私にとってはキリスト教精神に基づく興望館セツルメントの歴史を学ぶ貴重な1年でした。興望館は0歳から100歳までが集い・触れあい・交わる場所、いのちといのちが繋がる場所です。そこに興望館の存在理由があります。

コロナの第4波のリスクが高まっています。皆様そしてご家族のご健康が守られますように。興望館にとって長期化するコロナ禍で2年目のチャレンジが始まります。皆様、引き続きお支えのほどお願いいたします。

YMC A ニュース Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y

1. 3月26日～30日、志賀高原で春スキーキャンプを実施し、小学生18人と中高生20人が参加した。また3月28日～30日には「東山荘ネイチャーキャンプ」を実施し、幼児と小学生28名が富士山の散策などを楽しんだ。両キャンプともに定員を減らし、引率者は事前にPCR検査を受けるなど安全管理や感染対策を入念に行い、無事に終了した。

2. 4月8日に「第30回チャリティーゴルフ大会」がPGM総成ゴルフクラブで開催され、70名が参加した。感染症拡大防止のため、表彰式や懇親会は見送り、別途表彰記念品を参加者に贈呈した。益金約25万円は、障がい児プログラム支援、フレンドシップファンド、不登校の子ども支援、災害復興支援に用いる。チャリティーゴルフ実行委員会が準備と運営を担い、多くの個人や企業から協賛をいただいた。

3. 東日本大震災から10年にあたり、冊子「2011～2020 東日本大震災復興支援活動10年の歩み」を作成した。これまでに東京YMC Aが会員やユースボランティア等とともに石巻地域で行ってきた活動や、福島の家や子どもたちを対象としたプログラム他、多岐にわたる復興支援活動の記録に加え、関係者数人へのインタビュー内容も掲載した。

4. 今後の主な行事日程

第18回会員大会 5月22日 オンラインにて開催

第24回会員芸術祭 6月28日～7月3日

会場：東陽町センター

(小小康広担当主事)